

平成21年5月8日

各 位

会社名 はるやま商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 治山正史
(コード番号 7416 東証第1部)
問合せ先 執行役員 岡部勝之
(TEL 086-226-7101)

特別損失の計上及び平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月7日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成21年3月期の連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	56,760	370	420	△ 2,200	△ 136 34
今回発表予想(B)	55,000	△ 940	△ 830	△ 5,070	△ 311 61
増減額(B-A)	△ 1,760	△ 1,310	△ 1,250	△ 2,870	—
増減率(%)	△ 3.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	59,108	2,618	2,791	668	41 09

平成21年3月期の個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,290	400	500	△ 2,100	△ 129 10
今回発表予想(B)	53,650	△ 890	△ 730	△ 4,830	△ 296 96
増減額(B-A)	△ 1,640	△ 1,290	△ 1,230	△ 2,730	—
増減率(%)	△ 3.0	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	56,944	3,180	3,382	805	49 55

特別損失の計上及び業績予想の修正の理由

(連結)

売上高につきましては、リーマン・ショック以降の消費の低迷により紳士服販売事業における売上高が伸び悩みました。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の減少に加え、来期以降の財務体質の健全化と安定的な収益確保に向けて積極的に実施した不採算店舗の撤退により発生した過剰在庫を適正に評価するため、商品在庫の評価減の基準を見直いたしました。これにより、商品評価減が従来の方法に比べて1,106百万円増加したことなどの要因により、上記の通り業績予想を修正いたします。

当期純利益につきましては、上記の理由に加え、土地の時価の下落や不況による各営業店の業績低迷などにより、減損損失が前回発表予想に比べて1,732百万円増加するなど、特別損失が1,398百万円増加する見込みとなったため、上記の通り業績予想を修正いたします。

(個別)

個別業績予想につきましても上記連結業績予想の修正の理由と同様であります。

なお、個別における商品評価減は従来の方法に比べて1,075百万円増加、特別損失は前回発表予想より1,546百万円増加する見込みであります。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上